

## GY-HM850/GY-HM650/GY-HM600 取扱説明書 追加変更のお知らせ

追加・変更された機能や表示変更についてのお知らせです。本書の「取扱説明書」とあわせてお読みください。


**850**、**650**、**600**：型名・シリーズ名のための機能です。

※ ● は初期値

### メニュー項目：[強調] を追加

[カメラ設定] → [ディテール] / [調整] に [強調] を追加しました。  
“入” に設定すると、ディテールの再現性がアップします。  
[設定値：● 入、切]

### ゼブラ機能“入”時の表示アイコン追加

ゼブラパターンの表示動作中、カメラモード時のディスプレイ画面に  (ゼブラアイコン) が表示されます。

### メニュー項目：[LPCM(QuickTime)] 追加

[システム] → [記録設定] → [LPCM (QuickTime)] を追加しました。  
QuickTime のオーディオ記録形式が設定できます。  
[設定値：デュアルモノラル、● ステレオ]

### メモ：

- 記録映像の解像度が Web の場合、設定値に関わらず“ステレオ”で記録されます。(850 / 650)
- オーディオ 4ch 記録選択時は、設定値に関わらず“デュアルモノラル”で記録されます。(850)

### プリセットズームにイーズ機能追加

プリセットズーム動作の動き始めと止まるときの変化の度合いを設定できます。  
※プリセットズーム動作を滑らかにするための設定です。

[カメラ機能] → [ユーザーボタン機能設定] → [プリセットズーム 1] / [プリセットズーム 2] / [プリセットズーム 3]  
プリセットズーム 1  
├ スピード  
├ イーズイン  
├ イーズアウト  
└ デュレーション  
※ [プリセットズーム 2] / [プリセットズーム 3] についても同様。

- スピード…従来のメニュー [プリセットズームスピード] に相当します。  
[設定値：1 ~ 127 (● 64)]
- イーズイン…ズーム動作の動き始めから、設定された“スピード”に達するまでの変化の度合いを設定します。  
設定値が大きいほど、設定“スピード”に達するまでの時間が長くなります。  
[設定値：1 ~ 10、● 切]
- イーズアウト…設定された“スピード”から、ズーム動作が停止するまでの変化の度合いを設定します。  
設定値が大きいほど、停止するまでの時間が長くなります。  
[設定値：1 ~ 10、● 切]
- デュレーション…“スピード”および“イーズイン” / “イーズアウト”の設定値から算出されるズーム動作時間を表示します。  
[表示値：\*\*\*. \* sec]

### メニュー項目：[フォーカスアシスト & ゼブラ] を追加 (650 / 600)

[LCD/VF 設定] → [撮影補助] → [フォーカスアシスト & ゼブラ] でフォーカスアシストとゼブラを同時に使用したときの動作を選択できます。  
● タイプ 1…ゼブラパターンにフォーカスアシストの輪郭線が重なります。旧バージョンと同じ設定です。  
● タイプ 2…ゼブラとフォーカスアシストが“入”の場合でも、ゼブラパターンにフォーカスアシストの輪郭線が重ならなくなりますが、ゼブラ部分にフリッカーが発生する場合があります。  
[設定値：タイプ 1、● タイプ 2]

### メニュー項目：[INPUT1/2 基準レベル] に設定値追加 (650 / 600)

[映像 / 音声設定] → [音声設定] の [INPUT1 基準レベル]、[INPUT2 基準レベル] に “-32dB” を追加しました。

### [ビューリモコン] 画面の下に“カメラ制御”ボタン追加 (850 / 650)



[ビューリモコン] 画面を表示した状態で、カメラ制御できます。

— カメラ制御ボタン

### メニュー項目：[APN] を追加 (850 / 650)

[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [接続設定] に [APN] を追加しました。  
※ APN：アクセスポイントネーム (Access Point Name)  
※ APN を設定できないアダプターを装着している場合、グレー表示となり選択できません。

### ご注意：

- APN の設定は本機ではなくセルラーアダプターに書き込まれます。誤った APN を設定すると、通信できなかつたり、通信会社から高額な請求をされたりする場合がありますので、正しく設定してください。

### ライブストリーミングのビットレート追加 (850 / 650)

[システム] → [ネットワーク] / [設定] → [ライブストリーミング設定] → [フレーム数 / 画質] の設定値を追加しました。

フレーム数 / 画質のフレーム数	解像度	設定値 (太字が追加)
60i、60p、30p	1920 x 1080	<b>60i(12.0 Mbps)</b> 、● 60i(8.0 Mbps)、60i(5.0 Mbps)、60i(3.0 Mbps)
	1280 x 720	<b>30p(8.0 Mbps)</b> 、● 30p(5.0 Mbps)、30p(3.0 Mbps)、30p(1.5 Mbps)
	720 x 480	<b>60i(8.0 Mbps)</b> 、60i(5.0 Mbps)、● 60i(3.0 Mbps)、60i(1.5 Mbps)、60i(0.8 Mbps)、60i(0.3 Mbps)
	480 x 270	30p(0.2 Mbps)
50i、50p、25p	1920 x 1080	<b>50i(12.0 Mbps)</b> 、● 50i(8.0 Mbps)、50i(5.0 Mbps)、50i(3.0 Mbps)
	1280 x 720	<b>25p(8.0 Mbps)</b> 、● 25p(5.0 Mbps)、25p(3.0 Mbps)、25p(1.5 Mbps)
	720 x 576	<b>50i(8.0 Mbps)</b> 、50i(5.0 Mbps)、● 50i(3.0 Mbps)、50i(1.5 Mbps)、50i(0.8 Mbps)、50i(0.3 Mbps)
	480 x 270	25p(0.2 Mbps)

### メモ：

- ライブストリーミング中は変更できません。
- [タイプ] 項目が“RTSP/RTP”の場合、5.0 Mbps を超えるエンコードビットレートは設定できません。
- [タイプ] 項目を“ZIXI”に設定し [レイテンシ] 項目を“低”以外に設定した場合、5.0 Mbps を超えるエンコードビットレートは設定できません。
- [タイプ] 項目を“ZIXI”に設定し [レイテンシ] 項目を“低”に設定した場合、または [タイプ] 項目を“RTMP”に設定した場合、3.0 Mbps を超えるエンコードビットレートは設定できません。

メニュー項目：[ライブストリーミング設定]項目追加および変更 (850 / 650)

[ストリーミングサーバー]に“Server1/Server2/Server3/Server4”を追加しました。4つの設定をそれぞれ登録できます。

変更前	変更後 (太字が追加)
ライブストリーミング設定	ライブストリーミング設定
ライブストリーミング	ライブストリーミング
解像度	サーバー
フレーム数 / 画質	ストリーミングサーバー
タイプ	Server1 (※)
UPD/TCP 設定	■ 設定名
RTSP/RTP 設定	■ タイプ
ZIXI 設定	■ 送信先アドレス
	■ <b>送信先 URL</b>
	■ 送信先ポート
	■ ストリーム ID
	■ <b>ストリームキー</b>
	■ パスワード
	■ レイテンシ
	■ <b>適応ビットレート</b>
	Server2 (※)
	Server3 (※)
	Server4 (※)
	解像度
	フレーム数 / 画質

※ Server1 と同様に Server2/Server3/Server4 も各項目が設定できません。

メモ：

- タイプ (MPEG2-TS/UDP、MPEG2-TS/TCP、RTSP/RTP、ZIXI、RTMP) の選択によって、ほかの項目が設定できない場合があります。また、選択できる内容が異なる場合があります。

メニュー項目：[ストリーミングサーバー]設定項目の設定値追加 (850 / 650)

[システム]→[ネットワーク]/[設定]→[ライブストリーミング設定]→[ストリーミングサーバー]→[Server1]/[Server2]/[Server3]/[Server4]→[タイプ]に設定値“RTMP”を追加しました。  
[設定値]：●MPEG2-TS/UDP、MPEG2-TS/TCP、RTSP/RTP、ZIXI、RTMP]

メニュー項目：[ライブストリーミング設定]追加項目 (850 / 650)

- [システム]→[ネットワーク]/[設定]→[ライブストリーミング設定]→[ストリーミングサーバー]→[Server1]/[Server2]/[Server3]/[Server4]に以下の項目を追加しました。
- 送信先 URL  
送信先 URL “rtmp://” から始まるライブ配信先の URL を入力します。  
初期値は、なし (空文字) です。  
※最大 191 文字、ASCII 文字で入力可能です。
  - ストリームキー  
ライブ配信先で指定されたストリームキーを入力します。  
初期値は、なし (空文字) です。  
※最大 63 文字入力可能です。
  - 適応ビットレート  
“入”に設定すると、ネットワーク帯域の変化に応じて自動的にビットレートを変更します。  
その場合、ライブストリーミングのビットレート設定項目で設定された値が上限となります。  
[設定値]：入、●切

メモ：

- [タイプ]が“ZIXI”であり、[レイテンシ]が“中”または“低”のときのみ、適応ビットレートが設定可能です。

メニュー項目：[レイテンシ]に設定値追加 (850 / 650)

[システム]→[ネットワーク]/[設定]→[ライブストリーミング設定]→[ストリーミングサーバー]→[Server1]/[Server2]/[Server3]/[Server4]→[タイプ]で“ZIXI”を選択したときの設定項目 [レイテンシ]に“最小 (ZIXI 切)”を追加しました。  
[設定値]：中、●低、最小 (ZIXI 切)]

ステータス (ネットワーク) 画面に Zixi 情報追加と操作機能変更 (850 / 650)

[ライブストリーミング設定]が“ZIXI”のときのステータス (ネットワーク) 画面に以下の項目を追加しました。

- 経過時間
- 総パケット数
- 復帰パケット数
- 非復帰パケット数
- ビットレート

また、ステータス (ネットワーク) 画面表示中に“Menu”ボタンを押すと、“ネットワーク設定”画面が表示されるようになりました。

メモ：

- [システム]→[ネットワーク]/[設定]→[ライブストリーミング設定]→[ストリーミングサーバー]→[Server1]/[Server2]/[Server3]/[Server4]の [タイプ]が“ZIXI”であり、[適応ビットレート]が“入”のときのみ“ビットレート”が表示されます。

FTP レジューム機能追加 (850 / 650)

FTP 転送開始時、サーバーに同一名ファイルが存在し、かつ転送しようとしているファイルサイズより小さい場合、サーバー上のファイルは FTP 転送が中断された内容と判断してレジューム (追加書込み) 確認画面が表示されます。



“レジューム”を選択すると、中断された位置から追加するように FTP 転送が行われます。  
FTP 転送が正常に終了すると、画面に“完了しました”と表示されます。

メモ：

- レジューム機能付きの FTP サーバーが必要です。
- [システム]→[ネットワーク]/[設定]→[クリップサーバー]→[Clip-FTP1]/[Clip-FTP2]/[Clip-FTP3]/[Clip-FTP4]→[プロトコル]を“SFTP”に設定した場合、“レジューム”機能は無効になります。
- ネットワーク接続設定の [FTP プロキシ]を選択してください。画面で“HTTP”を選択した場合、レジューム機能は無効になります。

ファイル形式：MXF(MPEG2)の解像度：設定値追加 (850 / 650)

[システム]→[記録設定]→[記録フォーマット]→[形式]で“MXF(MPEG2)”選択時、[解像度]の設定値に“1280x720”が選択可能になりました。このとき [フレーム数 / 画質]は、60p(HQ)、50p(HQ)の2種類から選択できます。

メモ：

- GY-HM850 は、以下の条件で選択肢が固定されます。  
[システム]→[システム周波数]で 60/30/24 を選択した場合、[フレーム数 / 画質]は 60p(HQ) で固定されます。  
[システム]→[システム周波数]で 50/25 を選択した場合、[フレーム数 / 画質]は 50p(HQ) で固定されます。